

川崎重工業株式会社

NO.2024058

2024年10月31日

**SBI 新生銀行とマスターフレームワークを活用した融資契約を締結
～当社初のグリーンローンによる資金調達～**








川崎重工は、株式会社 SBI 新生銀行とサステナブルファイナンスによる融資契約を締結しました。今回の契約は、2023年11月に公表した世界初の資金調達の枠組み「マスターフレームワーク」^{※1}を活用した初めてのグリーンローンでの融資契約となります。同フレームワークを活用したサステナブルファイナンスとしては、本年1月に実行をしたサステナビリティ・リンク・ローン、トランジション・ローンと本年2月に発行したトランジション・ボンドに続く4例目です。

■融資契約締結先とサステナブルファイナンスの種類



時期	金融機関名	サステナブルファイナンスの種類
2024年10月	株式会社SBI新生銀行	グリーンローン

マスターフレームワークは、当社グループが「グループビジョン2030」で掲げる3つの注カフィールドである「安全安心リモート社会」「近未来モビリティ」「エネルギー・環境ソリューション」を支えるサステナブルファイナンスの活用を促進するために策定した、あらゆるサステナブルファイナンスを網羅する資金調達の枠組みです。

今回調達予定のグリーンローンとは、環境改善効果のある事業に要する資金を調達する際に受ける融資です。本融資で調達された資金は、マスターフレームワークに基づいた、適格クライテリア「水素のクリーンな輸送・貯蔵」に関連する事業・プロジェクトに対する新規支出および既存支出のリファイナンスに充当される予定です。

適格クライテリア	適格カテゴリー	プロジェクト例
水素のクリーンな輸送・貯蔵	環境適応製品、環境に配慮した生産技術およびプロセス（持続可能な海洋輸送）	<ul style="list-style-type: none"> 水素液化機 液化水素出荷・受入基地 液化水素貯蔵タンク 液化水素運搬船 水素燃料船 液化水素運搬船用タンクシステム 水素圧縮機

※各プロジェクト例に記載しているマークは、以下のプロジェクト分類を指します。

 : グリーンプロジェクト  : ブループロジェクト

当社グループは、「グループビジョン 2030」の達成に向けて「2030 年度に長期借入金に占めるサステナブルファイナンスの割合を 50%、2050 年度には 100%」を KPI として定めています。本融資契約の締結により、その割合は 22%となります。当社は今後とも、サステナビリティ経営の取り組みを加速させるとともに、ステークホルダーとのエンゲージメント強化に努め、SDGs の達成と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以 上

※1：マスターフレームワークについて

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_231130-1.pdf

【参考リンク】

- ・川崎重工業株式会社へのグリーンローンの実行について

<https://corp.sbishinseibank.co.jp/ja/news/notice/20241031a.html>

- ・当社のサステナブルファイナンスに関する取り組みについて

<https://www.khi.co.jp/ir/finance/>

- ・グループビジョン 2030 について

<https://www.khi.co.jp/groupvision2030/>